

2016年(平成28年)

11/15号

第1848号

発行日/毎月2回(1日、15日)



# まちだ

基本目標

- 将来を担う人が育つまちをつくる
- 安心して生活できるまちをつくる
- 賑わいのあるまちをつくる
- 暮らしやすいまちをつくる



発行 ● 町田市 編集 ● 政策経営部広報課  
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22  
市役所の代表電話 ● 042-722-3111  
市役所の窓口受付時間 ● 午前8時30分～午後5時  
ホームページ ● <http://www.city.machida.tokyo.jp/>

町田市  
ホームページ  
QRコード



今号の紙面から ● 4～5面 2015年度給与・人事行政の運営等の状況を公表 ● 10面 市民協働フェスティバル「まちカフェ!」開催



町田市地域子育て相談センター  
イメージキャラクター“みるく”ちゃん

## 子どもと子育て家庭に やさしいまちへ

「子どものことで悩んでいるときに、  
隣のおばあちゃんがアドバイスをくれた」

「近所のおじいちゃんが  
登下校を見守ってくれていた」

などの思い出はありませんか？社会環境の変化により地域のつながりが薄くなりつつある現在でも、地域がもつ子どもを育てる力の大切さは変わりません。

今号で紹介する「町田市地域子育て相談センター」は、地域で子育てに取り組むための拠点として、市内5か所に設置されています。センターは、乳幼児親子の集いの場にもなっており、地域の支援者やボランティアなどの地域人材の協力を得て活動しています。

乳幼児期は、生涯にわたる人格を形成するうえで最も大事な時期です。この時期に、子育て家庭が、地域の住人に見守られながら、安心して子育てができる環境作りが求められています。



実際に  
ママさんたちがうれしかった  
「ちょっとした思いやり」  
を紹介します。

### 子育ての 最初の一步 はちょっとした思いやりから

子育ては、お子さんのいる家庭や、  
専門家だけがするものでしょうか？

実はちょっとした理解で、誰でもお手伝いができるんです。お子さんを連れた方が困っていたら、お手伝いしてみましょう。ちょっとした思いやりが、大きな喜びに変わります。

地域のお子さんは、将来を担う宝物です。地域みんなで見守りましょう。

- ♡ 子ども連れで手がふさがっているときに、エレベーターのボタンを押してくれて助かりました。
- ♡ パレードを見物している時、人が多くて見えないだろうからと、子どもを前に行かせてくれました。
- ♡ 子どもが泣いているときに、あやしてくれてうれしかったです。
- ♡ 子どもを連れて出かけた時に、地域のおじいちゃん・おばあちゃんに声をかけていただけたのが、ほっとする瞬間でした。
- ♡ 子どもとトイレに並んでいたら、順番を替わってくれて助かりました。
- ♡ 地域のお祭りで、お店の人がお手伝いさせてくれ、子どもがすごく喜んでいました。

子育てママの声を基に、広報課で編集しました。

